

博物館施設整備について

平成17年5月31日
教育委員会

1. 経緯

博物館施設の整備について、市民の要望を受けて基本構想検討懇談会及び基本計画策定委員会を設けて検討、協議を行ってきたところである。平成15年11月に、市は県教育委員会に対して、移転が予定されている県立図書館を博物館建設候補地として希望する旨の要望書を提出した。16年4月に知事との懇談会で、市が活用することについての方向づけが得られ、9月以降、同建物について博物館施設としての利用の可能性について調査・検討を行った。盛岡市博物館施設整備基本計画策定委員会は、この調査報告書に基づき、博物館施設としての機能や耐震補強などの建築基準法に適合した改修工事を行えば、博物館施設への転用は可能とし、県立図書館を最有力候補とした。

2. 施設整備のねらい

博物館施設は集客性のある博物館機能を基本とし、盛岡の歴史・伝統文化の拠点機能を有する施設として、岩手公園開園100周年を契機に取り組むものである。施設整備は、現在の岩手県立図書館施設を活用し、市民の生涯学習及び文化意識の向上のほか、周辺地域の文化・観光ゾーンや隣接する盛岡城跡の相互活用も併せて、中心市街地の再生や活性化に寄与することを目的とする。

3. 全体計画

- ・平成11～13年度 博物館等施設整備基本構想検討懇談会の設置・開催
- ・平成14年度～ 博物館施設整備基本計画策定委員会の設置・開催
- ・平成16年度 岩手県立図書館建物を活用した博物館施設整備調査検討報告書の作成
- ・平成17年度 博物館施設整備基本計画策定業務委託の実施(予定)
- ・平成18年度以降 基本～実施設計、展示基本～実施設計、本体建築～展示工事等、開館

4. 平成17年度の事業(予算額 5,860千円)

- ・県立図書館施設の活用を前提に、施設の基本方針・整備計画・活動計画や管理運営方法や概算事業費等を盛り込んだ基本計画書を策定する。
- ・文化課内に「歴史文化施設開設担当」を置き、中央公民館郷土資料展示室と合同で計画素案の検討及び寄贈・収集資料の整理・再点検作業を行なう。